

第 8 回徳山ダム事業費管理検討会 審議内容メモ

日 時：平成18年8月30日（水） 14:30～16:30

場 所：水機構中部支社 4階会議室

出席者：国土交通省中部地方整備局河川部長（会長）

岐阜県県土整備部長

愛知県地域振興部長（代理：水資源監）

愛知県建設部長（代理：技監）

愛知県企業庁水道部長

三重県政策部長

三重県県土整備部長

名古屋市上下水道局技術本部長

水資源機構中部支社副支社長（代理：ダム事業部次長）

配付資料

- ・第 8 回徳山ダム事業費管理検討会 議事次第
- ・第 8 回徳山ダム事業費管理検討会 名簿
- ・第 8 回徳山ダム事業費管理検討会 資料

審議内容

1. 事業費管理について

徳山ダム建設事業費 3,500 億円に対して、事業費の見直し（中電及び NTT 施設の移設費、埋設廃棄物処理費、法面对策費の減）を含め、現段階での事業費が約 3,353 億円となり、コスト縮減額約 147 億円の見通しであることを確認した。

これに従い、平成 19 年度の概算要求額約 91 億円としたことの説明を受けた。

引き続きコスト縮減に努めるよう水資源機構に対し強く要請した。

2. 試験湛水について

試験湛水の開始について、工事進捗状況の報告を受け、今年 9 月 25 日を試験湛水開始目標日（ただし、気象、流況等により変更することはある）とすることの報告を受けた。

3. その他

山林公有地化事業の進捗状況および集団移転地文殊地区の現況について、報告を受けた。

（以上）